



shopify

Shopifyを活用した 自社ECサイト構築支援サービス

株式会社オーブンゲート

ECサイトの分類

ECサイトは出品／出店の観点から大きく二つに分類することができます。

出品・出店する
(モール型ECサイト)

amazon

Rakuten

au PAY マーケット

YAHOO! ショッピング
JAPAN

自分でお店をつくる
(ASPカート型)

shopify

BASE

COLOR ME
カラーミーショップ by GMOペパホ

※他にもさまざまなECサイトがあります。

モールと自社ECの比較

モール型ECサイトと自社ECサイトは似て非なるモノです。
目的によりどちらかを選択する必要があります。

	モール型ECサイト	自社ECサイト
集客力	強い (モールを利用している顧客に対しアプローチできる)	弱い (ゼロから自力で集客する必要がある)
顧客の特徴	新規顧客が中心	・ 購買意欲が強い ・ リピーター を確保できる
初期／運用費用	低い (ECプラットフォームによって多少の差あり)	高い (サービスを選定することで費用はある程度コントロール可能だが、基本的に高額になる)
利益率	比較的高い (手数料・出店料が必要)	高い (成果が出るまで時間がかかるが、 長期的に見ると利益率は高い)
プロモーション	広告費用と時間をかける必要あり	カスタム性がある
デザイン性	モールのルールに従う必要がある	比較的容易 (自由にカスタム可能)
成果が出るまでの時間 (6ヶ月を基準とする)	○ (プロモーションを十分に行なった場合)	△ (プロモーションによる)
顧客情報	溜まらない	溜まる

モール型ECサイト（ASPカート型）の特徴

- **レンタルサーバーが不要！**
レンタルサーバーを新たに用意する必要がなく、
提供されたクラウド上でECサイトを構築できるシステム。
- **初期コストゼロでも始められる！**
初期費用・月額費無料から利用できるASPカートもあるため、
比較的簡単にECサイトをオープンすることができる。
- **開発も自由自在！**
クラウド上でサービスが提供されているため、法改正や基本的なアップデートはベンダーが行う。
開発コストも最小限で押さえることが可能。
- **ブランディングに最適！**
デザインや機能を自由にカスタマイズ可能。
自社の世界観やコンセプトによって見せ方を変えることができる。

ASPカート型の種類

□ 無料ASPカート



□ 有料ASPカート



□ 有料ASPカート (定期購入に特化)



□ 有料ASPカート (法人取引に特化)



□ 有料ASPカート (越境ECに特化)

cafe24

Shopify について

Shopifyは現在最も勢いのあるECサイト構築ツールです。
商品ページ内でのユーザーの動きなど、**詳細な顧客情報**まで獲得できるため、
運用の改善などが圧倒的に行きやすいことが最大の特徴です。
決済手数料は3.4%と最も安く、**売上が上がれば上がるほど低コスト**になります。

Amazonとの違い

Shopifyはあくまで自社ECサイトを構築するための支援サービスです。
そのため、Shopifyは事業者側にとって利便性が高いサービスを提供することを目指しています。

良いところ

- ❑ **顧客情報の分析機能が圧倒的に高い**
- ❑ 多様な決済方法と言語に対応し、越境ECに進出しやすい
- ❑ 在庫マネジメントや配送面でのサポートが手厚い
- ❑ 入金サイクルは翌週の金曜日
- ❑ **SNS連携機能などSEO対策が強く、集客力が強い**

課題点

- ❑ 一部英語で表示されている部分が残っている
- ❑ 過度な便利なアプリツールの追加に注意
- ❑ HTMLなどのコーディングの知識が少し必要

在庫管理と配送サポート

在庫マネジメントや配送面において手厚いサポートが受けられます。

在庫マネジメント

- (1) ECの売上や在庫がスマホから簡単に管理できる。
- (2) モバイル用のアプリもあり、注文状況やアクセス状況をアプリで簡単に確認することも可能。
- (3) 管理画面のUIも直感的で操作性が高い。

配送サポート

- (国内) 日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便と提携
- (海外) FedEx、UPS、DHLなどの世界3大配送会社と提携

配送面の対応に強いため、簡単に世界中に商品を販売することが可能。

アカウントの管理画面



Shopify Marketsの活用

Shopify Marketsは、あらゆる規模の事業者の越境ECの参入障壁を減らし、越境EC特有の複雑さを解決するサポートを行います。
マーケットの特定から立ち上げ、運営までを1つのShopifyストアで行えます。



- 各マーケットを一つのダッシュボードで管理
- マーケットごとの価格設定と端数処理
- 自動でSEO対策ができるローカルドメインの使用
- 購入者の地域に応じて、適切な通貨や言語を自動表示
- 各マーケットでどの支払い方法を使用すると最もコンバージョンが高いかを把握し、チェックアウト時に自動的に最適な支払い方法を表示

**ビジネス全体を包括的に見ることができ、
国内外のマーケットでのビジネスのパフォーマンスをモニタリングすることができる。**

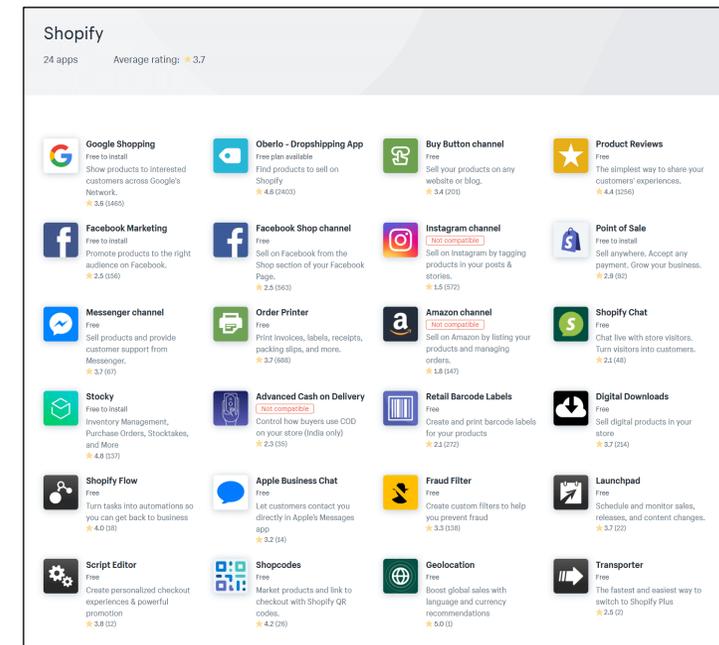
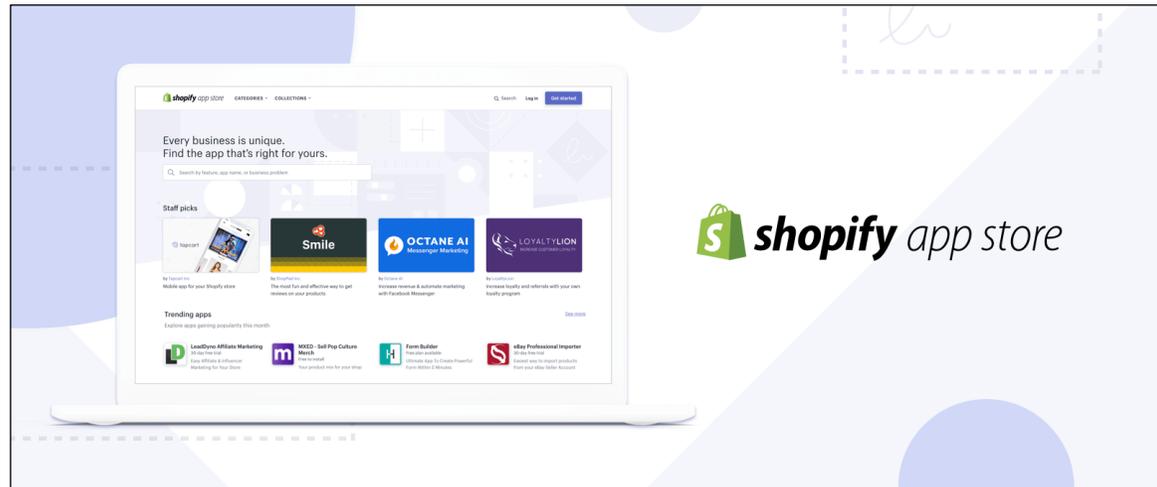
高いカスタマイズ性

Shopifyには2,200種類以上の豊富なアプリが存在します。

サイトのカスタマイズや機能拡張を目的にさまざまなアプリを購入することができます。

APIが充実しており、機能の拡張が容易な仕組みになっています。

会計処理、顧客サポート対応などのサービスを組み合わせることで**ビジネスが加速**します。



Shopifyの豊富なアプリケーションのイメージ図

集客の圧倒的強さ

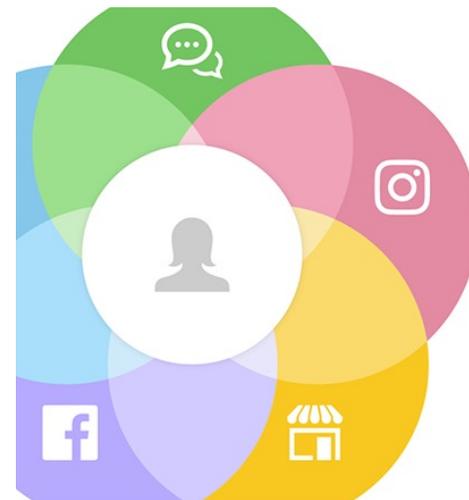
SEOやSNS連携対応！Shopifyは集客にも強い

万全なSEO対策

ECサイト運営において、最も難しく重要な要素である「Webマーケティング」ShopifyはSEOにもしっかり対応しています。ページごとにメタタグが自由に設定できます。

SNS連携機能

特にFacebookやInstagramとの連携が充実しています。Messengerを利用したチャット対応やショッピングカードへの誘導機能がついています。



商品写真から購入ページへ誘導する機能が備わっています。

多様な言語と決済方法に対応

Shopify は、世界175ヶ国以上で利用されています。

世界中の言語や決済方法をカバーしており、各国の税率にも対応しています。

また、2021年よりShopify Marketがサービス開始され、
越境ECにチャレンジがしやすい環境が整備されました。（次ページ参照）

クレジットカード決済やコンビニ決済、さらに代引きにも対応。

また「Pay Pal（ペイパル）」「Amazon pay」なども対応。

Amazon Payを導入することで、Amazonユーザーを取り込むことも可能です。



月額利用料（ライセンス料）

Shopifyの月額利用料（ライセンス料）はプランによって大きく異なります。後からのプラン変更も可能なので、まずはベーシックプランでの導入をおすすめしています。

	ベーシック	スタンダード	プレミアム
初期費用	すべて無料（制作費は別途）		
月額利用料 ※1 USD=¥149.9	\$33 (¥4,947)	\$92 (¥13,791)	\$ 399 (¥59810)
年間利用料	¥59,360	¥165,490	¥717,721
決済手数料	国内カード3.4% 海外カード3.9%	国内カード3.3% 海外カード3.85%	国内カード3.25% 海外カード3.8%
商品登録数	無制限		
取引額目安	月商500万円以下	月商5,000万円以下	月商5,000万円以上

サイト制作費

制作費用は以下を基本としていますが、
制作内容や制作規模に応じて価格をカスタマイズさせていただきます。

項目	費用	作業内容
ディレクション人件費	¥850,000	<ul style="list-style-type: none">・ 進行管理一式・ 要件定義・ サイトマップ・ ワイヤー作成・ アカウント申込みサポート・ 商品情報マスタ作成・ 簡易マニュアル作成・ サイトチェック・ 英語翻訳
デザイン人件費	¥1,200,000	<ul style="list-style-type: none">・ バナー/商品ページの画像制作
コーディング/設計者人件費	¥1,400,000	<ul style="list-style-type: none">・ 各種ページ制作・ アプリ実装・ アクセス解析設置・ テスト/デバック
合計	¥3,450,000	